

第7回地産産業振興部会 議事録

記録 清水

日時：H26.12.9 PM6:15~7:40 於小出市庁舎302

出席者：清水・三友・林・小林・星・大林・桜井・大桃（会議のみ）・橋の諸氏（菫澤氏忘年会のみ）

1. 議 題

- 1-1. 1/7日開催 第一回合同会議報告
- 1-2. 新し取組み課題の検討
- 1-3. その他

2. 主たる報告及び意見

2-1. 第一回合同会議報告（会議の内容は先般部会員の皆さんに第6回議事録に同封）

- ① 当日は、下記の3課題をテーマに、出席者全員が4部会を回るワールドカフェ方式で進めた。
 - 1) まちづくり委員会だよりで呼びかけた部会員募集に応募者0！ 何故か？ どうしたら良いか！
 - 2) まちづくり委員会の今後の進む方向は？
 - 3) コミ協との連携をどの様に図るか！

2-2. H26年度の新しい取組みに付いての主意見

- ① 魚沼市内にスイーツのお店が多くでき、スイーツの試食会『食のモニター』を実施してはどうか！
- ② モニター制度はあくまでも手段であって『食のモニター』が最終目的にならないように注意が必要！
- ③ 町の中にパン屋さんが目立つようになった。地場産の食材を使った『創作パン』を募集してはどうか！
- ④ 『スイーツ』『創作パン』等の「食のモニター」用の商品を募集するに、どんな呼び掛けをするか？
- ⑤ 「食のモニター」で、市全体の活性化につなげる前提で考え、市外に販路を拡大する等の積極策で『うおぬま産の食材等とか、食のキーワード滋養強壮食・栄養食・ダイエット食とかの一定の条件』を付けて作品の公募をする手があるのでは！ 場合によっては、専門業者や食の専門学校と共同で新商品を開発する方法も考えられる。
- ⑥ 地域産業振興部会は、自分達の手でモノを作る集団では無い。
まして、予算を必要とする方法は、我々が手の出せる範ちゅうでは無いと思う。
- ⑦ 確かに部会単独で動くことができると思っていない！ 例えば、魚沼市ものづくり振興協議会・商工会・専門業者等の団体と協働で、『魚沼市オリジナル加工製品』を創りだすことに参画することはできる。
開発商品が地元業者だけの負担が大き過ぎる場合は、市に取っての重要性やアイテムの大きさ等から、行政の支援を受けられることを「魚沼市まちづくり基本条例」第6条と第8条に記されている。
- ⑧ H27年度予算の策定中であり、今の状態からしたらその予算に組込むことは間に合わない！
- ⑨ 現段階で百万円単位の大きな予算を必要とすることにつながるから、市長がその必要性を認めれば、どうにでも解決出来る範疇と考える。 予算枠がないからテーブルに上げない！ ことでは無く、効果予測を前提に検討したらどうか！
- ⑩ 商店街の空き店舗を利用させてもらって、『スイーツ』『創作パン』等の、一堂に会した販売方法も面白く意味のあるものではないか？ 良かったら他の街に展開することもあり！
- ⑪ 貸店舗は、何ヶ月間かは無料に近いサービスがあると、参加しやすいのでは！
- ⑫ 元々客が集まらないシャッター街に、期待する客が集ってくれるか作戦が重用！
- ⑬ 『スイーツ店』『創作パン店』ともに、こんな試作品ができた！ みんなから意見を聞いてみたい！ との話しにつながるものがベスト。 また、この商品（試作品）は、男/女・年齢層にどの様に受け止められるか調査したい！ 等の下、更なる改善につなげることが期待できる。
- ⑭ 「食のモニター」に絞り込む前に、各種の提案をしましたが、行き成り、一点に絞りこむ事では無く、第二次魚沼市総合計画に於ける地域産業振興部会の本来の役目を原点に立って話し合うことも必要と考えた上でのことです。（まちづくり委員会合同会議「ワールドカフェ」を各自ご確認ください。）
- ⑮ 次回の地域産業振興部会は、『スイーツ』『創作パン』の「食のモニター」に絞った検討会にしたい。

※ 会議終了後は、美味しい料理・美味しい赤ワイン・美味しい大吟醸酒・リーズナブルな料金に幹事の方の努力に感謝致します。

慣れない部会の進行にもかかわらず、部会員の皆様の一昨年のご活動に感謝申し上げます。
来年は、実りある一年に致したいと努力致します。
宜しくお願い致します。

地域産業振興部会長 清水 義次